

記事内容

- ☆2012春季生活闘争第4次行動
- ☆2012春季生活闘争第3次行動(地域協議会)/賃金改正/メンタルヘルス研修会開催について
- ☆女性のためのSTEP UPセミナー開催/改正育児・介護休業法
- ☆2012男女平等月間/トップセミナー開催について/政策フォーラム開催について
- ☆平和集会開催について/平和行動の日程/折り鶴募集
- ☆青年委員会連合群馬青年委員会との交流会
- ☆狭山茶/5月の日程
- ☆あけぼのビル

## 2012春季生活闘争第四次行動

# ～中小・地場労組交渉の早期解決に向けた支援と連携強化を～

連合埼玉は、県内4ブロックの各地域協議会と連携し、4月5日の熊谷駅北口の街頭行動を皮切りに、6日南越谷駅南口、11日川越駅東口デッキ上、12日大宮駅東口の県内4ヶ所で、2012春季生活闘争の「中小・地場組合の解決促進」に向けた街宣行動を実施した。

担当ブロックの副会長より、2012春季生活闘争で主張している「職場で働くすべての勤労者を対象とした処遇の維持改善と、賃金水準の維持・向上」への取り組みと、現在、交渉の真っ只中にある中小・地場組合への支援と解決促進を訴えた。

続いて、今回初めての取り組みとして、各駅頭で構成組織の交渉状況についてブロック別に担当執行委員と構成組織役員の福島支部長(JP労組)、井上執行委員(JEC連合)、宮崎執行委員(サービス・流通連合)、萩元執行委員(フード連合)がそれぞれアピールし、今後の交渉追い上げと早期解決を力強く訴えた。

また、各駅頭で女性委員会から「男女平等参画社会実現」に向けたアピールも行った。



4/5 熊谷駅北口



4/11 川越駅東口デッキ上



4/6 南越谷駅南口



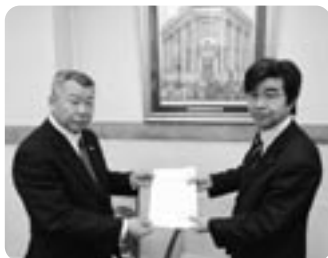
4/12 大宮駅東口

## 2012春季生活闘争 第三次行動

# 賃金の底上げ・格差是正に向け、諸団体への要請

地域協議会では、3月26日～30日の間に、各地域の商工団体など地協から同様の要請を行った。

### ◆◆ 各地域協議会の要請の様子! ◆◆



川越商工会議所/  
川越・西入間地域協議会



越生商工会議所/  
川越・西入間地域協議会



東松山市商工会議所/  
比企地域協議会



入間市商工会議所/  
西部第四地域協議会

## 2012春季生活闘争(4月6日集計)

### ～それぞれの組合が厳しい情勢の下、全力の闘いを～

連合本部は、4月10日に第3回「回答集計」を発表しました。4月6日現在、1,836組合で回答がされ、5,187円の引上げ額となっており、これは昨年同時期(2011年4月1日)と比べて▲118円となっています。昨年は東日本大震災が発生し、回答を遅らせた組合も多かったことから、一昨年の同時期(2010年3月30日)と比較すると、回答組合数で+640組合、賃上げ額+1円と、交渉前に一部マスコミで取り上げられていた定昇凍結協議などのマイナス要素は少なく、震災、欧州債務危機、超円高などの厳しい情勢の中、各労働組合がそれぞれの状況下で精一杯の交渉を行っています。現在も闘いを続けている仲間も多く、早期解決に向け連携強化を強めていきましょう。

#### ○平均賃金方式(すべての組合員数による加重平均)

平均方式	2012回答(2012年4月6日集計)		
	集計組合数	引上げ額	引上げ率
	集計組合員数		
	1,836組合	5,187円	1.78%
	1,475,302人		
昨年対比	2011回答(2011年4月1日集計)		
	集計組合数	引上げ額	引上げ率
	集計組合員数		
▲118円 ▲0.01ポイント	1,137組合 1,007,750人	5,305円	1.79%
一昨年対比	2010回答(2010年3月30日集計)		
	集計組合数	引上げ額	引上げ率
	集計組合員数		
1円 0.02ポイント	1,196組合 1,286,247人	5,186円	1.76%

## 「復職」「予防・早期発見」組織としての取り組みとは

# 連合埼玉「メンタルヘルス研修会」の開催について

自殺者は、14年連続3万人台が続いており、平成23年中、自殺の動機的一位は「健康問題」です。そのうち「うつ病」は4割以上であり、その動機の一つである「職場における心の健康問題(うつ病)」への対応は、労使共に連携しなければ適切に進まない、極めて重要な課題であり取り組みです。

昨今、メンタルヘルス対策を重視する企業等の割合も年々上昇しており、ますます適切な対策や教育研修・情報提供が必要となります。また、過去に行ったメンタルヘルス研修のアンケート調査においても「職場復帰への対応」の要望が多くなることから、今年度は「休復職」、「予防・早期発見」をテーマとしました。主旨をご理解の上、参加をお願いいたします。

- |        |   |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 2012年6月12日(火) 10:00～17:00   |
| 2. 会 場 | ときわ会館5階<br>さいたま市浦和区岸町7-5-19   |
| 3. 内 容 | 「組織としての休復職サポートについて」<br>講師：(独)労働者健康福祉機構<br>埼玉産業保健推進センター<br>①休復職に関する事例紹介<br>②休復職サポートの具体的な講義、演習<br>③希望による、個別質問コーナー |
| 4. 対象者 | 組合役員及び、管理監督者(人事担当者)<br>50名  |

## ～女性が労働組合で輝くために～

### 女性のためのSTEP UPセミナー開催

4月18日(水)さいたま共済会館にて「女性のためのSTEP UPセミナー」を開催した。本セミナーは、女性が職場や組合活動の中で、より活躍できるようステップアップし、あらゆる分野での女性の参画を推進することを目的として4月(基礎編)と9月(応用編)の2回実施している。

開会にあたり、女性委員会横山委員長より「男女の賃金格差の問題は改善されていない。制度は良くなっているのに根本からは女性の立場は変わっていないのではないか。賃金格差は社会保障にはねかえってくるものであり、女性の年金が低いのは給料が低いからだ。社会を変えていくのは私たち女性である。一人でも二人でも労働組合に興味を持って関わっていただくきっかけになればうれしい」と挨拶があった。

第1部は、連合埼玉小林直哉会長より「労働組合で女性が輝くために」と題した基調講演をうけた。連合がスタートして23年になるが、国会への女性の参画状況は世界186カ国中121位というのが現実の姿である。また、夫の家事・育児時間の国際比較では、他の先進国が1日3時間程度であるのに対し、日本は1日1時間しか関わっておらず、男性の育児休暇取得率は1.38%となっている。女性管理職の誕生がニュースになるほどで、日本は国連女性差別撤廃委員会から勧告まで受けていることなど、データで説明。簡単な答えはないが、ステップアップセミナーなどの活動で意識を高め、環境作りに向け男性とともに考え、アピールしていくことが大切との激励があった。



研修会の様子



参加者のみなさん

連合埼玉  
小林直哉会長女性委員会  
横山薫委員長

講師：大小原利信氏

第2部は、大小原利信氏による『話し上手・きき上手』と題したコミュニケーション研修で、4人ずつの班に分かれ、最初にアイスブレイク(緊張をほぐすゲーム)を行った。順番に質問攻めと回答によってその人の人となりがわかってきてしまう。いつの間にか意気投合し、その後の実習がとても楽しいものになった。『話し上手』では、相手にどのように伝えたら理解してもらえるかを考えて説明してみる。相手が行動するところまで繋げて初めてコミュニケーションが成立し、理解してもらったことになるということを実践で学び、『きき上手』では「言葉と気持ちを聴く」ことが大切であり、相手は話すこと(聴いてもらうこと)でバリアがとれ(もやもやが解消)、話しているうちに自分で気づき、成長し、そして行動につながる。ただ聴いてあげること(傾聴)がいかに大切かを講師の体験も交えながら実践した。

最後まで楽しく実践しながら学ぶことができ、参加者全員のモチベーションが上がり、自分を振り返り、人の話を聴くことがいかに大切なのかがわかるなど、とても有意義なセミナーとなった。

女性委員会・幹事 吉田恵美子(国公総連)

#### ■次世代育成支援対策推進法に基づく

### 改正育児・介護休業法が平成24年7月1日より全面施行されます。

男女ともに、仕事と家庭の両立ができる働き方の実現を目指し、平成21年6月に育児・介護休業法が改正されました。これまで、従業員数100人以下の事業主には、適用が猶予されていましたが、平成24年7月1日より適用されます。「3歳未満の子を養育する労働者に対する短時間勤務制度の義務化と所定労働時間の免除制度の義務化」「介護休職制度の創設」が義務化され、すべての企業・組織で適用になります。ご自分の職場でもこれらの制度が適用されているか、確認をしてみてください。

詳しくは… [http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/pdf/ikuji\\_h23\\_9.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/pdf/ikuji_h23_9.pdf)

改正育児介護休業法

検索

## 2012年度 連合埼玉「男女平等月間」の取り組み

### 男女平等の意識をさらに高めよう

連合埼玉では、男女平等参画社会実現に向け、組合員の理解の浸透と意識の高揚をめざし、毎年6月を男女平等月間として位置づけ、各種取り組みを実施しています。今年度は、埼玉独自のポスターを作成するとともに、各構成組織トップによる男女平等参画「トップ宣言」のポスター作成と組合員皆様からの男女平等参画「標語」を募集してきました。

男女平等参画「標語」については、別途、入選作品を選考後、優秀作品については、紙面・HP等を通じ広く組合員の皆様に周知をしていくこととします。

#### ～男女平等参画トップ宣言～

女性の進出を阻む見えない障壁のことを「ガラスの天井」といいます。日本では依然として男性＝基幹業務、女性＝補助業務の意識が強く、働き続けたいと願う女性の意欲を阻んでいます。ガラスの天井を取り払いましょう。

連合埼玉 会長 小林直哉

## トップセミナーの開催について

男女平等参画に対する理解が進むよう構成組織ならびに加盟組合のトップクラスを対象としたセミナーを民主党埼玉県連男女共同参画委員と連携し開催します。

日 時	2012年6月25日(月) 13:30～16:30
場 所	あけぼのビル5階501会議室
参加要請	70名(三役産別3名以上、執行委員産別2名以上、その他の産別1名以上)
内 容	①男女平等推進の事例紹介 ②基調講演「女性を活用する国、しない国」 講師：竹信 三恵子氏(和光大学現代人間学部現代社会学科教授) ③意見交換

## —政策制度要求実現に向けて—

### 2012年度「政策フォーラム」の開催について

2012年度の政策制度要求実現に向け、「構成組織・地域協議会・推薦議員」の参加で課題認識の共有化・要求案づくりを目的に開催します。

また、相互の交流を深め、より活発な議論をすることにより政策・制度実現に結び付けていきたいと考えています。

日 時	2012年5月21日(月) 10:00～17:00
場 所	さいたま共済会館6階 601・602会議室
参加要請	連合埼玉執行部、構成組織役員、地協役員、推薦議員、シニア連合青年委員会、女性委員会
内 容	①講演：「働くことを軸とする安心社会」 講師：吉田 昌哉 日本労働組合連合会企画局長 ②2011年度政策制度要請に対する県回答報告 ③分科会

分科会	テーマ(案)
A	「公契約条例をもっと知ろうよ!」～一人はみんなのために、みんなは一人のために～
B	「地域と連携した見守りネットワークをつくろう!」～孤独死・孤立死をなくすための対策とは～
C	「震災がれきの処理を進めるには?」～がれき処理の対応で見たこと、これから必要なことは～
D	「さまざまな働き方と保育のバランス」～「子どもは日本の宝物」今、必要な保育とは～

## 自ら考えよう 平和の尊さを! ~2012連合埼玉平和行動~

### 次代につなげよう 平和の尊さと戦争の悲惨さを! ~連合埼玉「平和集会」開催~

下記4つの平和行動に先立ち、平和の尊さや戦争の悲惨さを風化させることなく次代に継承することを目的として、本年度より連合埼玉主催による「平和集会」を開催します。

今回は、1945年8月14日の終戦前夜に受けた空襲による熊谷市の惨劇について、アニメーションビデオの上映及び体験者の証言講演を開催するとともに、「戦争を起さないために私達にできることは何か」について、パネルディスカッションをおこない考える場とします。また、会場にて当時の写真等の資料展示も行います。

**日時** 2012年6月9日(土) 13:30~16:40 (受付開始 13:00~)

**場所** マロウドイン熊谷 2F 鳳凰  
熊谷市銀座1-64 TEL:048-525-7611

**内容** 【第1部】

■アニメーションビデオ上映「最後の空襲くまがや」

■証言講演「熊谷空襲」仮称 証言者:藤間 豊子さん

【第2部】

■パネルディスカッション

テーマ「戦争はなぜ起きてしまうのか? 戦争を起こさないため、私たちは何ができるのか?」

パネラー:小林直哉会長、山根隆治外務副大臣、

:提 未果氏、海外駐在有経験組合員(予定)

コーディネーター:佐藤道明事務局長

**参加者** 構成組織、地域協議会、青年委員会、女性委員会、シニア連合、福祉事業団体、NPO、連合埼玉推薦議員等、幅広く参加を募っていきます。特に平和行動への参加を検討されている方は、事前学習の場としては是非、ご参加ください。

## 連合埼玉平和行動日程

連合埼玉は、4つの平和行動を中心に取り組み、自ら平和行動の重要性を再認識するとともに、平和の大切さを広く組織内外に訴えていきます。

### 【平和行動in沖繩】

日程 2012年6月23日(土)~25日(月)(後泊含む)

内容 <<1日目(6/23)>>

(1)2012平和オキナワ集会

① 基調講演

② 平和式典

<<2日目(6/24)>>

(1)ピース・フィールドワーク「南部戦跡に学ぶ(連合群馬と合同)」

(2)「米軍基地の整理・縮小」、「日米地位協定の抜本改定」を求める行動<集会・デモ>

### 【平和行動in広島】

日程 2012年8月4日(土)~6日(月)

内容 <<1日目(8/4)>>

(1)2012平和ヒロシマ大会

<<2日目(8/5)>>

(1)平和イベント

(2)ピースウォーク

<<3日目(8/6)>>

(1)広島市主催「平和祈念式」

### 【平和行動in長崎】

日程 2012年8月7日(火)~9日(木)

内容 <<1日目(8/7)>>

(1)2012平和ナガサキ大会

<<2日目(8/8)>>

(1)平和シンポジウム

(2)ピースウォーク

<<3日目(8/9)>>

(1)長崎市主催「平和祈念式典」(参加予定)

### 【平和行動in根室】

日程 2012年9月7日(金)~10日(月)(前・後泊含む)

内容 <<2日目(9/8)>>

(1)学習会「北方四島の現状、島への思い(語り部)等」

<<3日目(9/9)>>

(1)平和ノサップ集会

※平和行動in根室は、連合関東ブロック派遣団としての参加となることから前・後泊となりますので、詳細については別途日程を提示します。

## 平和行動in広島・in長崎への献納「折り鶴」を募集します!

連合埼玉では、毎年、平和行動in広島の「平和ヒロシマ大会」において、参加者の平和の願いを込めた「折り鶴」の献納を行っています。本年より「平和行動in長崎」でも「折り鶴」献納を行います。

<注意事項>

折り紙につきましては、恐縮ですが各自でご用意ください。また、大きさは、7.5cm四方の折り紙(黒・金・銀を除いた色)を使用し、両羽を広げず1メートル長さの木綿糸に50羽ずつ通してください。

◆募集締め切り

**7月27日(金) 連合埼玉事務所必着**

## 連合群馬青年委員会との交流

# ～ハッ場ダム視察。役員の想いはさまざま～

連合群馬青年委員会は、活動方針に掲げている「コミュニティ・ネットワークづくりの推進」のひとつである、「各地方連合会青年委員会との連携強化」を目的に、4月13日に連合群馬青年委員会との交流会を実施した。交流会にあたり、連合群馬事務局の協力のもとハッ場ダムの視察を行なった。

ハッ場ダムは利根川の主流である吾妻川中流部の群馬県長野原町川原湯地先に建設が進められている多目的ダムで、2017年(平成27年)完成予定で工事が進められており、私たちが住む埼玉県を含む関東1都5県(神奈川県を除く)の水がめとして9番目のダムとなる。

ハッ場ダムの建設中止は、民主党の2009年の衆院選マニフェストの象徴でもあったため、政権交代後に事業の中止が発表され議論になった。しかし、昨年の12月22日に国土交通大臣が検証の結果、再開の理由として「継続が妥当」とした国交省関東地方整備局の検証が適切だと同省有識者会議が認めたことや、ダム下流に人口が集積する利根川水系の治水の重要性、流域6都県の知事らの建設要望などを考慮し事業の再開を表明したのも記憶に新しい。

当日は、群馬県ハッ場ダム水源地域対策事務所の佐藤副所長と堀江次長にダム事業の概要と歴史を説明してもらい、ダム建設予定地や橋梁、住民の代替用地、新しい国道・県道・鉄道など、ほぼ全工程を視察させてもらった。

治水などにおいて関係の深い埼玉県の住民として参加した役員は、1952年(昭和27年)に計画が発表されてからすでに60年が経過し、さまざまな問題を投げかけ長期化したダム事業を視察し、思いは複雑だったが貴重な経験をさせてもらった。

その後、今回の目的でもある、連合群馬青年委員会との交流会を実施した。お互いの活動に対する考え方や具体的な活動内容について報告し、活発な意見交換がされた。最後に、次世代を担っていく自分たち青年層の役割の重要性を再認識し、今後、さらなる連携強化を確認し終了した。



下に見える橋もダム完成後は湖水に沈む



ハッ場ダムの整備について説明を受ける

2012年4月13日(土)～14日(日)にかけて連合群馬青年委員会との交流会を行いました。

1日目の昼過ぎにハッ場ダム予定地近くの「やんば館」に集合し、ハッ場ダム対策事務所の方の説明を受けながら1時間半かけて現場を視察しました。「ここまで工事が進んでいるなら完成させるしかないのでは?」という声から聞こえてきました。

場所を移しての意見交換会ではお互いの活動報告・情報交換を行った後、懇親会を行いました。会ってから半日足らずなのにすっかり打ち解け合い、あっという間に時間が過ぎて行きました。

2日目は連合群馬の方々を見送った後、午前中いっぱい幹事会を行ってから散会となりました。今回この様な素晴らしい企画に参加させていただいた事に感謝し、今後に生かしていきたいと思いました。

青年委員会・幹事 酒井 章貴(建設埼玉)

## 交流会参加者の感想

4月13日～14日に連合群馬青年委員会と初めて合同で視察研修および交流会を行った。視察研修ではハッ場ダム整備事業について群馬県の担当者から説明を受けた。報道等で見るのと違い、ダム本体の工事は行われていないが周辺事業については8割以上済んでおり、もう後戻りできない状態であることを実感した。交流会では、それぞれの活動計画や報告の後に意見交換を行った。各構成組織から多くの組合員が参加するスポーツイベントは埼玉にないものであり、とても勉強になった。

青年委員会・幹事 椎名 邦充(自治労)



連合群馬青年委員会のみなさんと

# 大きな力をいただきました。皆さまのご協力に感謝!

## ～狭山茶購入支援キャンペーン終了～

昨年12月より取り組んだ～狭山茶購入支援キャンペーン～は、連合埼玉加盟構成組織だけにとどまらず、福祉事業団体・民主党埼玉県連・連合関東ブロック・NPO団体等、幅広い支援をうけ、皆さまの多大なるご協力をいただきました。

目的の一つである「風評被害の払拭」、「ブランドイメージを守る」、「減少した販売高の下支えによる地場企業の支援」について、ご理解をいただけたと感謝申し上げます。

また、購入額の30%を東日本大震災被害者支援金として寄付いただくことも、目的として活動を行ってきました。結果、2,112,728円を、狭山茶農業協同組合より東日本大震災被災者支援金として寄付していただきました。この寄付金は、県内避難者に対する今後の支援活動の大きな支えとなります。今後、この寄付金を活用し県内避難者への支援活動をどのように行うか十分な議論を行い、目的を果たしていきたいと思っております。

<b>1. 展開スケジュール</b>	2011年12月12日(月)～2012年3月30日(金)まで	
<b>2. 協賛団体</b>	狭山茶農業協同組合(16社、55品目)	
<b>3. 購入支援結果</b>	協力組織数:266組織	購入品数:8,183品
	購入金額:7,042,428円	寄付金額:2,112,728円

## 現在予定される5月の日程表です

5月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	火	事務所休日	①北埼玉地域協議会メーデー(行田地区9:30～・さきたま古墳公園/羽生地区10:00～・羽生中央公園) ②秩父地域協議会チャリティーゴルフ(北武蔵カントリークラブ)
2日	水		
3日	木		
4日	金		
5日	土		
6日	日		
7日	月		
8日	火		
9日	水	第5回四役会議(あけぼのビル)・拡大執行委員会(さいたま共済会館)	
10日	木		①平成24年度第1回埼玉県地域訓練協議会(10:00～・埼玉労働局14階大会議室) ②経営者協会「定時総会」(13:30～18:30・パレスホテル大宮)
11日	金	第3回政策制度委員会(13:30～・連合埼玉会議室)	
12日	土		
13日	日		
14日	月		
15日	火		埼玉労福協フードバンク研究会第3回準備委員会(10:00～・ときわ会館)
16日	水		
17日	木		
18日	金		①JAM埼玉「第15回チャリティーゴルフ大会」(おおむらさきゴルフ倶楽部) ②関東ブロック代表者会議(14:00～)
19日	土		社民党埼玉県連合同期大会(10:00～・さいたま共済会館)
20日	日		
21日	月	政策フォーラム(10:00～・さいたま共済会館)	
22日	火		
23日	水	青年委員会国会見学・遊就館見学/第5回幹事会(9:30～・参議院会館)	
24日	木	「ネット21運動」評議員会(13:30～・ときわ会館)	埼玉労福協総会(10:00～・ときわ会館)
25日	金	連合埼玉議員会議被災地視察(～26日・岩手)	
26日	土		
27日	日		建設埼玉「第43回定期大会」(12:30～ 28日16:00・水上ホテル聚楽)
28日	月		武正公一トップセミナー(18:00～・浦和ロイヤルパインズホテル)
29日	火		
30日	水		地方連合会代表者会議(14:00～・仙台)
31日	木		連合中央委員会(10:30～・仙台)

# あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

## ◇推薦基準の見直しで候補者は拡大したが

連合埼玉は2006年度第5回執行委員会において、地方議会議員選挙における推薦基準の見直しを行なった。見直し前の推薦基準では、組織内候補者と2つ以上の構成組織の推薦保証を得た組織外候補者を基本としていた。年々、組織内候補の擁立が困難になってきたこととあわせ、国政における民主党を基軸とした政治勢力の拡大による政権交代をめざすためにも地方における民主党議員の議席拡大が必要であり、連合埼玉においても政策制度の実現力を高めるためには、連合埼玉推薦議員を増やすことが必要であった。

推薦基準の見直しにより、民主党埼玉県連が保証組織となり公認・推薦の候補者を連合埼玉に推薦要請することが可能となり、推薦基準見直し前の2003年の第15回統一地方選挙と見直し後の2007年の第16回ならびに今年の第17回統一地方選挙の推薦候補者数と当選者数は表のとおりである。

市町議選では3回の選挙において推薦候補者数ならびに当選者数に大きな変化はないが、県議選では推薦候補が2003年と比較して2007年が2倍、2011年は3倍であり、さいたま市議選においても2007年が1.5倍、2011年は2倍と確実に推薦候補者を拡大することができている。当選者数においても県議選では2007年2.6倍、2011年1.9倍、さいたま市議選では2007年2.2倍、2011年2.3倍となっている。

しかし、候補者の拡大は進んだものの、今年の勝率を見ると65.6%と大きく落ち込んでいる。要因のひとつは民主党への逆風であることは言うまでもないが、連合埼玉の推薦候補への支援のあり方にも課題はあったと言わざるを得ない。特に新人候補との協力・支援関係を構築できなかったことは大きな要因であると言えよう。

## ◇民主党県連「選挙スクール」とは

民主党埼玉県連は次期統一地方選挙を視野に入れた「選挙スクール」の開催を昨年10月に決定した。選挙スクールの参加資格は、民主党の公認候補、もしくは総支部が公認推薦する見込みの候補者で、且つ総支部より書面をもって推薦された人物を原則としている。選挙スクールの目的は、いかにして選挙を勝ち抜き、自らの志を実現していくために必要な実践的なノウハウや民主党の選

挙に関するノウハウを提供し、具体的に自らの選挙を想定し、検討し、作り上げていくことを支援する。

4月16日開催の第2回選挙スクールに講師として招かれ、「連合埼玉との関係構築等について」をテーマに講義を行った。スクールの参加者は今年の統一地方選挙で連合埼玉が推薦をした候補者であり、惜敗から1年が経過した今、どのような活動を行なっているのか意見交換をすることができた。

## ◇政策研究会の活動から候補者発掘・育成を

連合埼玉2012～2013年度運動方針では、「各種地方選挙で惜敗した連合埼玉推薦候補者のうち次回をめざす候補予定者には、候補者発掘の観点からも新たに勉強会的な組織を立ち上げ、連合埼玉および構成組織・地域協議会と連携しながら切磋琢磨できる環境を整えていく」としており、この方針を具体化するために4月10日開催の第5回執行委員会で「連合埼玉政策研究会」を設置することとした。

本研究会は、連合政治方針ならびに連合埼玉運動方針を理解し、地方自治において、連合埼玉の政策制度実現の一役を担うべく議員候補者の育成、そのために連合埼玉・構成組織・地域協議会との日常的な連携をはかることを目的とする。活動については、連合埼玉・構成組織・地域協議会の諸活動への参加や福祉事業団体が主催する研修会等への参加。加えて、連合運動の実現に向けて自主的に行なう活動である。本研究会対象者は、地方選挙で惜敗した連合埼玉推薦候補者のうち、次回選挙の当選をめざし活動する者、又は連合埼玉が推薦決定した者。但し、連合埼玉推薦時の保証組織の承認を得た者、且つ連合埼玉執行委員会の承認を得た者とする。

推薦議員は連合埼玉・構成組織・地域協議会と連携をはかり、信頼関係を構築する機会が提供されている。但し、その機会をいかしているかは議員本人次第ではあるが、惜敗した推薦候補にはその機会すら与えられていないのが現状である。1選挙区に複数候補を推薦することが増えつつある中で、さらに現職に支援が集中することは今年の統一地方選挙を見ても歴然たる事実である。

候補者との信頼関係なくして私たち組織が支援活動に取り組むことはあり得ない。推薦議員はもとより政策研究会メンバーが、そして私たち組織が、互いに切磋琢磨できる環境が構築できてこそ、選挙において最大の力が発揮できるのではないかと。本研究会は候補者のためだけのものではなく、連合埼玉の政策制度実現に向けても意義あるものであり、それぞれの組織の理解と協力をお願いする。

2012.4.24

		県	さいたま	市・町	計	勝率
2003 第15回統一地方選挙	当選人数	7	6	32	45	83.3%
	候補者数	11	10	33	54	
2007 第16回統一地方選挙	当選人数	18	13	37	68	89.5%
	候補者数	23	15	38	76	
2011 第17回統一地方選挙	当選人数	13	14	34	61	65.6%
	候補者数	34	20	39	93	